

小池まさあき

事務所 成田市東町 155-3 TEL 0476-22-0688 FAX 0476-36-8538
E-mail koike@ngy.3web.ne.jp

プロフィール

<生年月日> 昭和 41 年 (1966 年) 9 月 18 日 <血液型> O 型 <趣味> スキー
<経歴> 三里塚小一遠山中一千葉日大一高一日大理工学部一日大大学院理工学研究科
平成 7 年成田市議会議員当選 以後 4 期当選 第 34 代成田市議会議長等を歴任
<現在> 県議会 県土整備常任委員会副委員長 ちば自民党青年局 政策交流委員長



一般会計は 1 兆 6,143 億 1,300 万円 対前年度比 1.9% 増

県税収入 対前年度比 8.6% 増

千葉県議会 2 月定例会が去る 2 月 19 日開会し、平成 26 年度予算を含む 93 議案が提案されました。

歳入は、景気回復と消費税率の引き上げによって、法人関係税、個人県民税、地方消費税などの増収が見込まれています。これによって、ここ数年予算確保のため毎年度計上してきた職員の退職金に充てるための借金である「退職手当債」の発行を見込まず予算編成ができたことは歓迎すべき傾向といえるものです。しかし、依然厳しい財政状況は続

いていますので、今後の経済動向に注視し財政の健全化へ向けて努力していかねばなりません。

「退職手当債」ってなに？

職員の退職金に充てる借金のこと。公務員の大量退職時代において、財政難を背景に、国が 2006 年度から 10 年間借金すること（起債すること）を認めたもの。千葉県でもここ数年は歳入不足で厳しい状況が続いていたことから、予算編成時において、職員の退職金を借金である「退職手当債」に頼り、他の事業等の予算を確保してきました。

東京オリンピック・パラリンピック戦略推進本部が設置されました

オリンピック・パラリンピック開催効果を千葉県の一層の発展につなげ、その効果を次世代にしっかりと引き継ぐことができるように、知名度を高め“CHIBA”を世界にアピールするための基本方針を策定します。

キャンプ誘致とスポーツ振興による地域の活力づくり

- キャンプ受入れの体制づくり
- 世界選手権など前大会からのキャンプ誘致
- 競技力の向上
- 県民のスポーツ振興や健康づくり機運の醸成

人と物のスムーズな流れの確保

- 成田空港の国際ネットワークの強化・充実
- 成田空港と県内外のスムーズな流れの強化
- 年齢・障害を問わず観戦・観光を楽しむためのバリアフリーの整備

魅力ある観光地づくりとおもてなし力の向上

- 世界の言語、生活、習慣、気候、食文化などに対応できる宿泊施設
- 多文化・多言語へのコミュニケーション対応
- リピート客獲得に向けた取り組み

大会のサポート

- テロ等違法行為の防止と諸対策の的確な推進
- 大会をサポートするボランティア募集協力
- 観戦者、旅行者が安心して過ごせる医療体制への協力

戦略的な千葉の魅力発信

- 全国、世界へ発信していくための新たな手法の検討
- 千葉県ならではの新たな魅力発見、磨き上げ
- 市町村、民間、団体との連携

2 取組の方向性 ～千葉からCHIBAへ【合言葉はCHIBA】～

千葉の強み・特性を生かし、ポテンシャルを磨きあげるとともに、「千葉からCHIBAへ」という更なる国際化に向けたチャンスと捉え、合言葉は「CHIBA」のもと、たくさんのキャンプや国内外の観光客に訪訪していただけるような、新しい千葉-CHIBA-を国内外に発信します。

2020年 世界から人々がやってくる CHIBA

Convenient & Comfortable

- 便利な交通アクセス
- 各国に対応可能なホテル群
- 安全・安心な「まち」



Innovative & Informative

- 時代を先取りした産業技術の発信
- アプリを活用した多言語による観光案内
- 無線公衆LANの普及

Adventure & Amusement

- 魅力的な観光スポット



Hospitality & Health

- 豊富な通訳ボランティア
- 外国人にも分かりやすい表示
- だれにでもやさしいユニバールデザインへの導入
- 旅行者のけが・病気への安心サポート
- スポーツ立県ちば



Beautiful & Bountiful

- 日本らしい町並み
- 美しい日本料理
- 豊富な食材



ジュニア選手の強化学業には1億円を計上

オリンピック実施28競技の各競技団体と連携し、ジュニア世代（12歳～22歳）に対して2014年～2018年の5年間、国内外の遠征費、競技用具の整備、トップレベルの指導者の招へいなどを行うものです。

一人でも多くの千葉県出身のオリンピック選手が生まれることを期待！



いじめ防止対策推進条例を自民党が提案

国の「いじめ防止対策推進法」を踏まえ、県の取り組みを整理し、いじめの発生防止及び発生したいじめへの迅速かつ適切な対応を強化推進し、県民一丸となっていじめの根絶を目指すために、その基本的指針となる条例の制定を行う必要があることから、自民党議員会では条例制定プロジェクトチームを組織し作業を進め、パブリックコメントを経て最終的な条例案が取りまとめられました。

この条例案が成立することで、県においては積極的かつ効果のないじめの防止等のための対策を実施し、子どもたちが健やかに成長することができる環境が作られることを願っています。

圏央道稲敷IC～神崎IC間 4月12日開通決定 来年には神崎～大栄間

首都圏中央連絡自動車道（通称：圏央道）の茨城県稲敷IC-千葉県神崎ICの開通日が4月12日（土）に決定しました。いよいよ圏央道が茨城県側から千葉県へと入ってきて、来年には神崎IC-大栄JCT間も開通する運びとなり、成田地域のアクセスが一段と向上することを期待しています。

ごあいさつ

今月は大雪に見舞われました。成田は「陸の孤島」と表現され、成田空港では多くの方が不自由な思いをされましたが、国際空港を有する自治体として今回の出来事を教訓に、関係企業・団体と連携しながら責任を果たせる体制づくりを目指すべきと訴えて参ります。

千葉県議会議員 小池正昭